

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	衛生管理	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )		担当者名	塩地	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	美容の業における公衆環境衛生の向上に努める。感染症についての的確な知識、技能や消毒法について学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要 1節 公衆衛生の意義と課題	
5～12	2節 公衆衛生発展の歴史	
13～20	3節 理容師・美容師と公衆衛生 4節 保健所と理容業・美容業	
21～22	2章 保健 1節 保健	
23～26	2編 環境衛生 1章 環境衛生 1節 環境衛生の概要	
27～31	2節 空気環境 3節 衣服・住居の衛生 4節 上・下水道と廃棄物	
32～39	5節 衛生害虫とネズミ 6節 環境保全	
40～49	3編 感染症 1章 感染症の総論 1節 人と感染症	
50～55	2節 病原微生物 3節 感染症の予防	
56～61	2章 感染症の各論 1節 理容業・美容業と感染症	
62～67	2節 主な感染症 3節 具体的な対策の例	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	保健	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )		担当者名	塩地	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	人体の構造と機能について理解し、美容師として頭頸部の構造や機能について、また、皮膚とその付属器官についての深い知識を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	第1編 人体の構造及び機能 第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖学 第2章 骨格器系 第3章 筋系	
5～12	第4章 神経系 第5章 感覚器系	
13～20	第6章 血液と免疫系 第7章 循環器系	
21～24	第8章 呼吸器系	
25～26	第9章 消化器系	
27～32	第2編 皮膚科学 第1章 皮膚の構造 前期末試験	
33～40	第2章 皮膚付属器官の構造	
41～48	第3章 皮膚の循環器系と神経系	
49～54	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	
55～60	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保護	
61～68	” 後期末試験	
69～70	1年のまとめ	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	化粧品化学	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	加賀	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	化粧品を扱うプロとして、原料、配合など製品の安全性を十分に理解し、知識を身につけるために学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～2	第1編 化粧品総論 第1章 化粧品総論 1節 化粧品とは	
3～5	2節 化粧品と造形 3節 化粧品の効果と使用プロセス	
6～7	第2章 化粧品を使用する際に気をつけるべきこと 1節 化粧品の使用によるトラブル	
8～10	2節 化粧品の定義と法規制	
11～13	3節 化粧品の安全性と安定性	
14～16	第3章 化粧品の成り立ち 1節 化粧品の成り立ち 2節 水と親水性溶媒	
17～19	3節 油性原料	
20～22	4節 界面活性剤	
23～26	5節 高分子化合物 6節 色材	
27	7節 香料	
28～34	8節 製品を安定させる配合原料 9節 その他の機能性配合原料	
35	10節 雑貨原料	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	美容技術理論	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )		担当者名	畑澤	
授業方法	講義		実務経験の有無	有(美容従事年数12年)	
授業の概要	美容の技術において、裏付けとなる化学的・理論的な根拠を与え、技術の習得を容易にするために学ぶ。				
到達目標	実技を修得するための基礎的知識を理解し、国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	序章 美容技術理論を学ぶにあって	
5～13	1章 美容用具	
14～21	2章 シャンプーイング	
22～25	3章 ヘアデザイン	
26～28	4章 ヘアカットイング	
29～34	↓ ↓	
35～42	5章 パーマネントウェー	
43～51	↓ ↓	
52～57	6章 ヘアセッティング	
58～63	↓ ↓	
64～70	7章 ヘアカラーリング	
71	↓ ↓	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	美容実習	学年	1 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	14 単位 ( 420 時間 )			担当者名	畑澤
授業方法	実習			実務経験の有無	有(美容従事年数12年)
授業の概要	美容理論に基づいた実践的な技術の習得を行う。				
到達目標	基礎的技術力を修得し、国家試験の合格を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～30	授業形態の説明 ウィッグの取扱い等      ブロッキング 一本巻き(上巻き・下巻き)	
31～86	ワインディング 基本の徹底 カッター シザーズ各部名称 持ち方・開閉 プラントカット	
87～142	センター バックサイド サイド構成 引き出す角度とスタイル 全頭をセイムで切る	
143～164	全頭 40分 シャンプー実習 相モデルでシャンプー練習	
165～181	全頭 30分 ウェーブセッティング ウィッグへのパーマ	
182～222	前期末試験 全頭 30分 コームの持ち方 毛流の梳かし方	
223～280	全頭 25分 リッジの作り方 1～7段目まで構成	
281～330	精度を上げる 全体のバランス 構成	
331～372	校内コンテスト 全頭 25分 "	
373～411	学生大会選考 に向けて 全頭 20分 学年末試験	
412～453	学年末試験 全頭 50分	
454～467	↓	↓

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	外国語	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	江島	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	サロンにおける英会話について実践的な授業を行う。				
到達目標	サロンワークでの英会話能力を身につける。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	1 自分について話そう 2 挨拶	
4～7	3 お客さまを迎える	
8～11	4 電話での接客	
12～13	5 コンサルテーション	
14	6 シャンプー&トリートメント	
15～18	7 ヘアカット	
19～23	8 パーマ	
24～27	9 ヘアカラー	
28～30	10 仕上げ	
31～33	11 お会計	
34～36	12 クレーム対応	
37	13 海外研修	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	保健体育	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )			担当者名	河村
授業方法	演習			実務経験の有無	無
授業の概要	スポーツを通して、健全な身体、精神力を養う。				
到達目標	身体健康増進を図る。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～2	バスケットボール/バレーボール 卓球/バドミントンなど球技種目を中心に行う	
3～6		
7～10		
11～12		
13		
14～16		
17～20		
21～24		
25～27		
28～30		
31～34		
35	▼	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	色彩理論	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )			担当者名	関谷
授業方法	講義			実務経験の有無	無
授業の概要	美容師としての色彩感覚を身につけ、AFT色彩検定3級の全員取得を目指す。				
到達目標	色彩検定協会主催 色彩検定3級の合格を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	1、配色演習(カラーカード)(アクリル絵の具) (1)色彩 (2)トーン	
4～7	2、色の表示 (1)色の三属性 (2)PCCS表色系 (3)色名	
8～11	3、光と色 (1)視覚 (2)照明 (3)混色	
12～13	4、色彩心理 (1)色の心理的効果 (2)色の視覚的効果	
14	5、色彩調和 (1)色相による配色	
15～18	↓ (2)トーンによる配色	
19～23	6、色とファッション (1)ファッションとは(2)配色技法 7、色とインテリア (1)インテリアとは (2)配色技法	
24～27	8、配色演習(色鉛筆) (1)抽象形によるデザイン (2)イメージ表現	
28～30	↓ イメージ表現	
31～33	9、デザイン演習 (1)似合う髪型(頭部)	
34～36	↓ (2)トータルコーディネート (全身)	
37	↓	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	カウンセリング	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )			担当者名	松岡
授業方法	演習			実務経験の有無	有(美容従事年数14年)
授業の概要	カウンセリングやコンサルティング方法論を学ぶことにより、サロンにおけるコミュニケーション能力や理解力を高める。				
到達目標	サロンでのカウンセリング能力を身につける。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～2	カウンセリング概論 カウンセリングとは	
3～6	美容におけるビジネスキャリア サロン内のコミュニケーション	
7～11	接客の基本と電話の受け方・かけ方 サロンのメディア活用	
12～13	トータルビューティの仕事とビューティコーディネーター	
14～17	生産性を高めるサロンオペレーション	
18～19	「美意識」をコーディネートする ファッションを理解する	前期試験
20～23	ビューティ・コーディネーターの美容知識	
24～28	コンサルティングに必要な事柄	JBCA 実務検定試験
29～31	毛髪診断	
32～34	施術前のコンサルティング	
35～37	ヘア・メイクデッサンの意義 プロポーションとヘアスタイル	後期試験

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	ネイル・選択	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )		担当者名	畑澤	
授業方法	演習		実務経験の有無	有(美容従事年数12年)	
授業の概要	JNECネイリスト技能検定試験、JNAジェルネイル技能検定及び、MSOJアイブロウトリートメントの取得を目指し、ネイル・アイブロウ理論と技術の習得を行う。				
到達目標	JNEC ネイリスト技能検定試験3級、 JNA ジェルネイル検定試験初級 MSOJアイブロウトリートメント検定3級 の受験・合格を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～6	ネイル理論 (爪の構造・働き・病気・トラブル等)	
7～14	ネイルケア・技術体系	
15～22	ネイルケア・技術体系	
23～26	ネイルケア一連の流れ・ポイント	
27～28	ネイルケア一連の流れ・ポイント	
29～36	ネイルケア一連の流れ・ポイント	
37～46	JNECネイリスト技能検定試験3級受験 全体練習	
47～54	ネイルアート作成・ジェルネイル理論 アイブロウトリートメント理論	
55～60	ネイルアート作成・ジェルネイル技術 アイブロウトリートメント技術	
61～66	ネイルアート作成・ジェルネイル技術 アイブロウトリートメント技術	
67～72	JNAジェルネイル検定試験 初級受験 全体練習 アイブロウトリートメント検定3級受験	
73～74	チップ&ラップ、リペア アイブロウトリートメント技術	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	メイク	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )		担当者名	鈴木	
授業方法	演習		実務経験の有無	有(美容従事年数3年)	
授業の概要	メイクの基礎的理論と技術を習得し、ディプロマを取得する。				
到達目標	基礎技術を修得し、ディプロマの取得を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	道具の確認 道具の使い方	
5～12	10章 メイクアップ理論	
13～20	ナチュラルメイク練習(ウイッグor相モデル) 確認テスト	
21～24	ナチュラルメイク練習 相モデル テーマを決めて相モデルメイク	
25～28	ナチュラルメイク 確認	
29～32	メイクディプロマ試験練習 前期試験(確認テスト+ノート提出)	
33～40	メイクディプロマ試験練習	
41～50	メイクディプロマ試験(11/14 予定) 試験終了後 まつ毛エクステンション授業	
51～56	まつ毛エクステンション 道具確認 まつ毛エクステンション 理論 確認テスト	
57～62	・テープの貼り付け ・装着 ・リムービング ※学生大会に向けての練習	
63～68	・テープの貼り付け ・装着 20本 → 30分 後期試験(ディプロマ試験の結果、まつ毛エクステンションの 確認テスト)	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	総合技術	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )		担当者名	大塚	
授業方法	演習		実務経験の有無	有(美容従事年数19年)	
授業の概要	主に、カット・ヘアカラー・ヘアアレンジ・ヘアセット技術や、作品撮影のためのヘアメイク技術を習得する。				
到達目標	サロンワークに特化した基礎的技術の修得。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	マナー概論 社会人としての心構え 美容師としての心構え	
5～14	ヘアカット理論 デモンストレーション ヘアアレンジ(ピンの扱い方等)	↓
15～22	編み込み(表・裏・三つ編み・四つ編み)	
23～26	ヘアアレンジテスト	
27～30	カラーリング 理論	
31～34	リハーサルクリーム使用 ・塗布行程について ・道具の取扱い方	
35～44	ブリーチ技術 カラー技術 ( レポート提出 )	
45～52	カット ・ 理論 ・ シザーの取扱い方・開閉	
53～58	・ ワンレングス ・ ボブ	
59～66	・ レイヤーカット ・ フロントカット	
67～74	・ セイムレングス ・ 次年度 アキリビコレクションについて	
75～76	デモンストレーション(1名) 今期の振り返り、まとめ	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	トータルビューティ	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )			担当者名	新田
授業方法	演習		実務経験の有無 有(美容従事年数21年)		
授業の概要	パーマアレンジ・ブロー・ウィッグ作品創作・着付け・婚礼着付けなど、サロンワークにおいて必要な知識や技術創作力を磨き習得する。				
到達目標	サロンワークに特化した基礎的技術の修得。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	美容師としての心構え スカルプマッサージの説明・デモンストレーション	
5～14	スカルプマッサージ 筆記テスト 実技 (相モデル) 実技テスト	
15～22	浴衣着付(女子) 袴着付(男子) 道具の説明・着付け理論・デモンストレーション 相モデルでの着付け・帯の結び方	
23～26	着付け テスト 実技・筆記	
27～30	パーマ デザイン巻き ダウンスタイル・ツイスト・ロングロッド・ツイストスパイラル	
31～34	↓	
35～44	デザインカラーリング ウィービング・ホイールワーク	
45～52	ブロードライニング・スタイリングの理論と実技	
53～58	【作品創作】 ウィッグ作品のデザイン・行程⇒計画書作成	
59～66	ウィッグ作品 カット・ワインディング	
67～74	ウィッグ作品 カラーリング・メイク・仕上げ	
75～76	卒業制作発表会についての話し合い	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	トータルファッション	学年	1 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	関谷	
授業方法	演習		実務経験の有無	無	
授業の概要	ヘアデザインについての創作的な技術を身につけるためにヘアスタイルやファッションイラスト等の描き方を学ぶ。				
到達目標	ヘアデザインの創作的技術の修得。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	鉛筆の削り方 顔のプロポーション	
4～7	顔の部分練習 基礎編 顔の描き方	
8～11	角度の変化による顔型 ヘアの描き方	
12～13	いろいろな描き方	
14	顔の部分練習 応用編	
15～18	配置によるイメージの違い	
19～23	ヘアスタイルによるイメージの違い 同じ顔でイメージを変える	
24～27	基礎プロポーション プロポーションの理解	
28～30	ファッションイラストの部分練習	
31～33	ファッションイラストの描き方	
34～36	ファッショングッズの描き方	
37	ファイリング	

## 令和7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	関係法規・制度	学年	2年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1単位 ( 30 時間 )		担当者名	田口	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	社会における法の役割、種類及び衛生法規について、衛生行政、保健所など美容師法に関わる内容を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	第1章 法制度の概要 第1節 社会生活における法の役割	
4～6	第2節 法の形式 第3節 衛生法規の概要 第4節 理容師法・美容師法と附属法令	
7～10	第2章 衛生行政の概要 第1節 衛生行政の意義と歴史 第2節 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 第3節 衛生行政を担う行政機関	
11～12	第3章 理容師法・美容師法 第1節 目的	
13	第2節 用語の定義	
14～17	第3節 人(理容師・美容師)に関する規定	
18～21	第4節 施設(理容所・美容所)に関する規定	
22～25	第5節 立入り検査と環境衛生監視員 第6節 違反者等に対する行政処分	
26～28	第7節 罰則	
29～31	第4章 関連法規	
32～34	国家試験(筆記)対策 過去問題の演習	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	衛生管理	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	塩地	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	美容の業における公衆環境衛生の向上に努める。感染症についての的確な知識、技能や消毒法について学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～2	4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論 1節 消毒法とは      2節 消毒の意義	
3～5	3節 理容・美容の業務と消毒との関係 4節 消毒法と適用上の注意	
6～9	2章 消毒法各論 1節 理学的消毒法(殺菌法)	
10	2節 化学的消毒法(殺菌法)	
11～12	3節 すぐれた消毒法とその実施上の注意	
13～14	3章 消毒法実習 1節 各種消毒薬	
15～17	2節 理容所・美容所の消毒の実際	
18～22	3節 理容所・美容所の消毒法の実際	
23～25	5編 衛生管理の実践例 1章 理容所及び美容所における衛生管理要領 1節 第1目的～第4衛生的取り扱い等	
26～28	2節 第5消毒～第6自主的管理体制	
29～32	2章 理・美容所の自主管理点検表	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	保健	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	小玉	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	人体の構造と機能について理解し、美容師として頭頸部の構造や機能についての深い知識を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～2	第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ・皮膚の異常と病態 ・湿疹、皮膚炎	
3～6	・蕁麻疹 ・薬疹 ・口唇の疾患	
7～10	・温熱、寒冷による皮膚障害 ・角化異常による皮膚疾患	
11～12	・色素異常による皮膚疾患 ・血管腫(アカアザ)	
13	・脂腺母斑 ・下肢静脈瘤 ・分泌異常による皮膚疾患	
14～16	・化膿菌による皮膚疾患 ・ウイルスによる皮膚疾患 ・真菌による皮膚疾患 (前期末試験)	
17～20	・衛生害虫による皮膚疾患 ・感染症の皮膚疾患の予防 ・毛と爪の疾患 ・皮膚の腫瘍	
21～24	国家試験対策授業 (総まとめ 問題)	
25～27		
28～30		
31～33		

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	香粧品化学	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	加賀	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	香粧品を扱うプロとして、原料、配合など製品の安全性を十分に理解し、知識を身につけるために学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1	第2編 香粧品各論 第1章 スキンケア製品 1節 香粧品の効果と使用プロセス	
2～5	2節 クレンジング用香粧品 3節 コンディショニング用香粧品	
6～8	4節 トリートメント用香粧品	
9	第2章 メイクアップ製品 1節 メイクアップ製品の種類と剤形	
10～12	2節 ベースメイクアップ香粧品 3節 ポイントメイクアップ香粧品	
12～14	4節 アイメイクアップ製品 5節 まつ毛ケア製品	
15～17	6節 ネイルメイクアップ製品 7節 ネイルケア製品	
18～20	第3章 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品 1節 ヘアクレンジング用香粧品 2節 ヘアコンディショニング用香粧品	
21～27	3節 ヘアスタイリング料 4節 パーマ剤	
28～32	5節 ヘアカラー製品	
33～35	6節 スカルプケア製品	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	美容技術理論	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	3 単位 ( 90 時間 )		担当者名	鈴木	
授業方法	講義		実務経験の有無	有(美容従事年数3年)	
授業の概要	美容の技術において、裏付けとなる化学的・理論的な根拠を与え、技術の習得を容易にするために学ぶ。				
到達目標	実技を修得するための基礎的知識を理解し、国家試験問題対応の基礎力を修得する。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～7	7章 ヘアカラー 確認テスト	
8～17	9章 ネイル技術	
18～29	11章 日本髪 確認テスト	
30～35	12章 着付けの理論と技術 確認テスト	
36～39	美容理論 1・2復習 実力テストに向けて反復練習(ワーク問題集)	
40～48	// 前期末試験(総まとめ4択問題)	
49～59	国家試験に向けての練習問題(実力テスト開始)	
60～72		
73～81		
82～90		
91～100		

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	文化論	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )		担当者名	関谷	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	理・美容業における歴史やヘアスタイル、ファッションの文化史を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。また、歴史を学び、幅広い知識を得る。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	第1章 総論 第2章 日本の理容業・美容業の歴史	
5～11	第3章 ファッション文化史 日本編 第1説～第3節	
12～19	第4節～第8節	
20～21	第9節～第12節	
22～25	第4章 ファッション文化史 西洋編 第1節～第3節	
26～29	第4節～第6節	
30～35	第7節～第9節	
36～45	第10節～第12節	
46～51	第13節～第16節	
52～57	第5章 礼装の種類 第1節 第2節 コラム	
58～65	国家試験対策 テスト	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	運営管理	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	田口	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	美容の仕事をしていくための知識として、接客、マーケティング、経営、労務、健康の管理を学ぶ。				
到達目標	国家試験問題対応の基礎力を修得する。また、サロン運営の知識を得る。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは	
4～6	第2章 理容業 美容業の経営について 第3章 資金の管理	
7～10	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	
11～12	第2章 従業員としての視点から	
13	↓	
14～17	第3章 健康・安全な職場環境の実現	
18～21	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	
22～25	第2章 サービス・マーケティング	
26～28	第3章 サービスにおける人の役割	
29～31	↓	
32～34	国家試験対策 テスト	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	美容実習	学年	2 年	授業分類	必修
授業単位数(時数)	16 単位 ( 480 時間 )			担当者名	鈴木
授業方法	実習			実務経験の有無	有(美容従事年数3年)
授業の概要	美容理論に基づいた実践的な技術の習得を行う。				
到達目標	基礎的技術力を修得し、国家試験の合格を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～47	ワインディング(学生大会選考会) オールウエーブセッティング(構成の確認)	
48～96	ワインディング(デザイン巻き開始) オールウエーブセッティング(時間短縮)	
97～160	ワインディング(構成の確認・時間短縮) オールウエーブセッティング(30分→テスト)	
161～186	ワインディング(30分→テスト) オールウエーブセッティング(時間短縮 25分)	
187～206	ワインディング(25分 テスト) オールウエーブセッティング(25分練習)	
207～253	ワインディング(20分) 前期末テスト オールウエーブセッティング(25分)	
254～311	ワインディング(完成度を高める) オールウエーブセッティング(完成度を高める) カット開始	
312～360	国家試験課題の練習 (カット、ワインディングまたはウェーブセッティング)	
361～408		
409～450	課題(衛生を含めた)通し練習	
451～488	↓ 国家試験 後期末試験	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	日本語	学年	2 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	藤田	
授業方法	講義		実務経験の有無	無	
授業の概要	接客における言葉使いや履歴書の書き方、お礼状の書き方等、常識的なマナー全般を学ぶ。				
到達目標	就職してからの一般常識や対応能力を身につける。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～3	作文・面接 2、就職面接対策	
4～6	・履歴書の書き方等(推敲させて提出)	
7～10	・模擬面接	
11～12	・手紙文の形式 ・礼状の書き方等	
13	文章表現の実践 1、表現	
14～17	・明快な表現等	
18～21	・文体の統一等	
22～25	2、構成 ・段落を分けて書く等	
26～28	・論旨をまとめる	
29～31	3、実践 ・感想文を書く	
32～34	↓	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	保健体育	学年	2 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	1 単位 ( 30 時間 )		担当者名	河村	
授業方法	演習		実務経験の有無	無	
授業の概要	スポーツを通して、健全な身体、精神力を養う。				
到達目標	身体健康増進を図る。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績において、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～2	バスケットボール/バレーボール 卓球/バドミントンなど球技種目を中心に行う	
3～6		
7～10		
11～12		
13		
14～16		
17～20		
21～24		
25～27		
28～30		
31～33	↓	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	エステティック	学年	2 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	2 単位 ( 60 時間 )			担当者名	中島
授業方法	演習		実務経験の有無	有(美容従事年数12年)	
授業の概要	エステの基礎的理論と技術を習得し、ディプロマを取得する。				
到達目標	基礎技術を修得し、ディプロマの取得を目指す。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～4	8章 エステティック 1.エステティック概論 2.皮膚の生理と構造	
5～12	4.美容におけるマッサージ理論 5.フェイシャルケア技術 6.フェイシャル及びデコルテマッサージ 7.フェイシャルパック	
13～20	8.ボディケア技術 9.ボディマッサージ	
21～24	実技 (ドール使用) ↓ ポイントクレンジング・クレンジング 拭き取り・手技・行程 手順・ツボの位置	
25～28	↓	
29～32	実技(相モデル)	
33～40	↓	
41～48	↓	
49～54	実技(グループ毎)	
55～60	↓	
61～66	↓	

## 令和 7年度 授業計画

学校名	秋田県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 敬愛学園
課程名	専門課程
学科名	美容科

授業科目名	総合技術	学年	2 年	授業分類	選択
授業単位数(時数)	3 単位 ( 90 時間 )			担当者名	松岡
授業方法	演習			実務経験の有無	有(美容従事年数14年)
授業の概要	主に、カット、ヘアカラー、パーマ技術やヘアアレンジ、アップ、着付など美容の実践技術を習得する。				
到達目標	サロンワークに特化した基礎的技術の修得。				
成績評価の方法・基準	前期末試験、年度末試験の成績においては、各期末試験までの間に小テストを数回繰り返し行いその平均点を算出して、60点以上を合格とする。				

時間数	授業内容	備考
1～6	修得した技術を元にさらに高度な技術を身につける カット(ワンレングス・レイヤー・グラデーション)	
7～15	・トータルスタイリング	
16～27	・グループワーク モデルを使用した作品制作(卒業制作)	
28～30		
31～36	↓	
37～45	アクリビコレクション (卒業制作発表会)	
46～54	日本髪・かつら 着付け・実技      ブライダル撮影会	
55～69	国家試験対策(実技・衛生・筆記)	
70～75		
76～84		
85～96	↓	